

ノーム自然環境教育事務所代表 坂本 均 資料

ESD（持続可能な開発のための教育）で大切なこと.....

「ウワーなんか難しそうですね！」よく聞かれる言葉です。
「環境」のこと？そんなイメージが人を寄せ付けないのかな？と思います。

あまり表には出てきませんが「人類を救う四つの教育」
が多様な教育現場で進められています。

「平和」「人権」「環境」「開発」

私達人類がこの地球でいつまでも暮らしていく為には...そのための教育の手段とも云われています。

学校教育はその中でも大きな役割を担うひとつの歯車だと考えます

小さな学校だからその取り組み.....
簡単ですが、その取り組みを紹介します

1



2



3



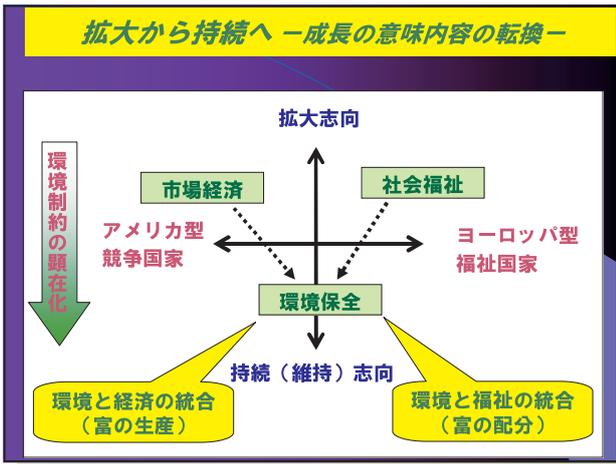
4

この活動の大きなネライは？

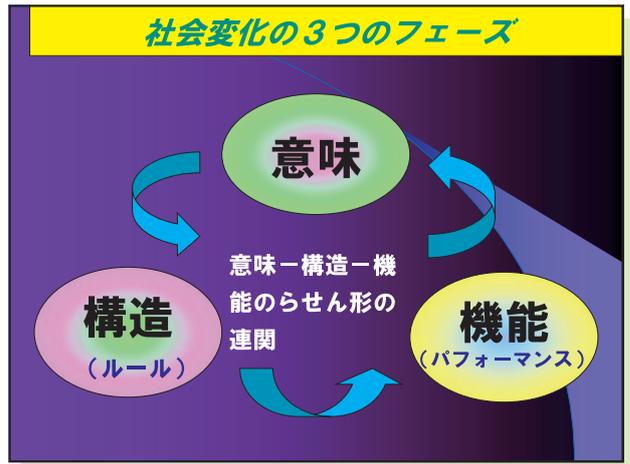
- 社会性
- 身近な地域に気づき愛着を持つ
- 身近な「水辺の楽校」への支援の呼びかけ
- 地域の歴史を見直す
- 自分達（大人）が子どもだったころの暮らしの大切さに気づき、地域の子とも達にも同じ体験を提供することで、「地域の宝」を守っていく
- 地域全体のコミュニケーションの促進

5

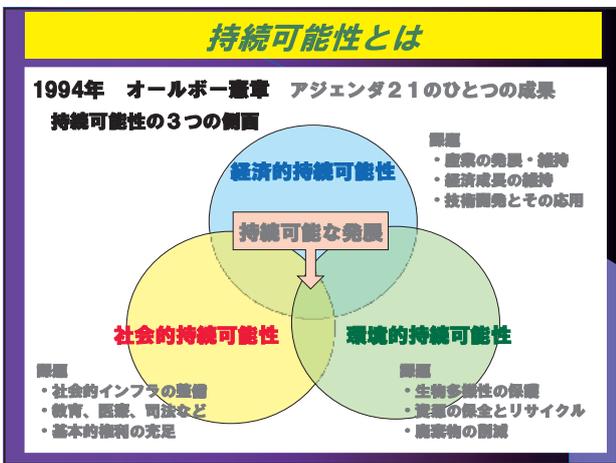
石川県環境部 新 広昭 参事資料



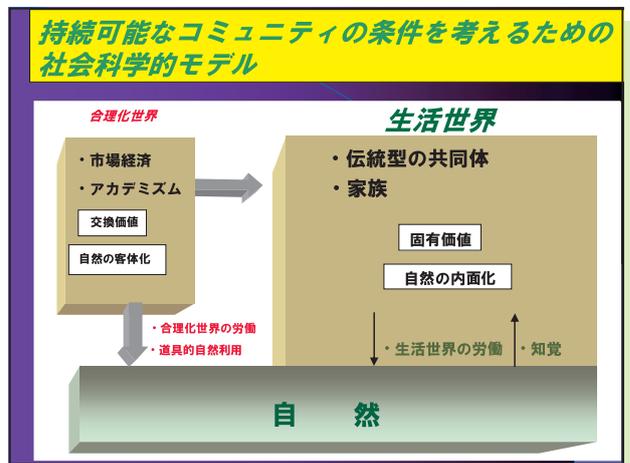
1



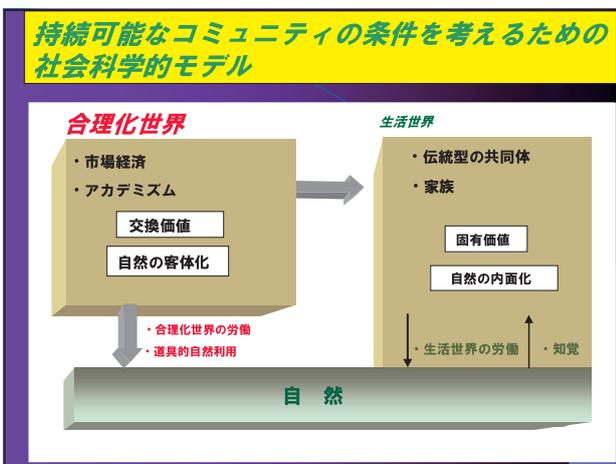
2



3



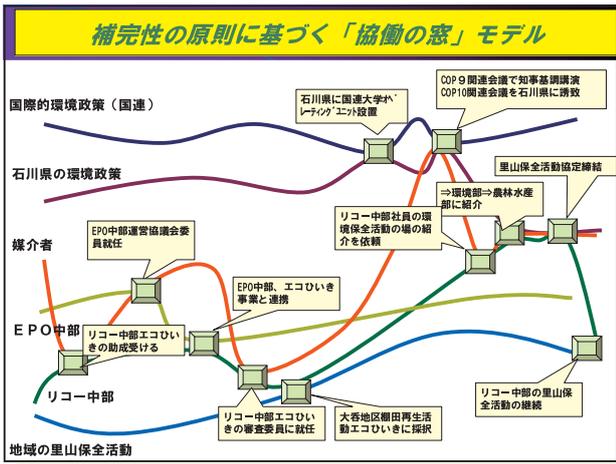
4



5



6



環境にイイコト、プラス。

未来の子供達に美しい自然を残したい

持続可能な社会を次世代につなげる

ユニー株式会社
環境社会員部
百瀬 則子

P.1

1

環境にイイコト、プラス。

エコお店体験

小学生を対象に、ユニーの店舗で、次世代を担う子供達が大人になった時に、SDが実践された持続可能な社会が実現されるために「自分がどんなライフスタイルを過ごせばよいのか」を判断できる大人になってもらうことが目的です。

●グリーンコンシューマー（環境に配慮した消費者）育成のためのプログラム



●ユニーのお店でやっている環境活動

ゴミの行方 リサイクルステーション ●私たちができること

今日から始める環境宣言



P.2

2

環境にイイコト、プラス。

農業体験

毎日の食卓に馴染み食品は、どのように作られているのでしょうか。ユニーが推進している食品リサイクル（資源型農産物）の仕組みを見学したり、田植えや収穫体験をとおして「たくさん生き物と一緒に生きていること（生物多様性）」「食べ物を大切にすること」を学びました。

●食品リサイクルの見学

店舗から排出される食品廃棄物 堆肥場の見学 堆肥が分解するとおこる匂い



●農業体験

田植え体験 収穫体験 子牛の心を癒している



P.3

3

環境にイイコト、プラス。

夏休み自然探検

夏休みの3日間、初めて出かけた仲間と一緒に、世界遺産白川郷の「先人の知恵」と自然との共生のなかで「自然に生きる姿」を体験してきました。

●白川郷の先人の知恵と技術



●自然との共生と未来への技

小川で水力発電 森の生き物探し 水車電池で模型自動車を走らせる



P.4

4

環境にイイコト、プラス。

地元NPO・企業とのコラボレーション

環境社会員部がパートナーシップオフィスと一緒に、ちいさの環境学習の進捗をサポートし、ESD（持続可能な社会を構築するための教育）の実践を目指しています。

●地元NPOがお店をフィールドに活動します



●地元企業とのコラボレーション

ユニー 地元企業 環境費 中間管理 パートナーシップオフィス インタープリター 観光 環境教育



●インタープリター養成



P.5

5

環境にイイコト、プラス。

未来の子供達に美しい自然を残したい



私たちは気候変動社会実現のために、お客様や関係する方たちと一緒に、努めています。

P.6

6